

活力ある農業委員会活動を目指して！！

奈良市農業委員会

1. 市町村の農業の概要

奈良市の農業は、地理的・社会的条件から地域間の農業構造格差が大きく、自立農家と零細農家の分極化や兼業化の中で、本市の農地・農家は年々減少しています。特に中部地域及び西部地域では、市街地の拡大に伴って農地が減少しています。

奈良市の主要作物は、従来から行なわれてきた稲作に加えて、都市近郊農業として中部・南部地域では施設野菜（イチゴ、軟弱野菜）の産地形成に努めるとともに、消費者との直接交流や土にふれあう機会の提供を推進するため市民農園の設置を進めています。

また、東部地域においては、米・茶の生産に力が入れています。近年、生産基盤と生活環境の一体的な整備を進め、農地の効率的な活用を図るため、営農組合を核として集落が一体となった営農体制の確立を目指しています。



奈良市農業委員会憲章

2. 農業委員会の取り組み

①具体的な取り組み内容

- ・農業施策に関する要望
農業経営に関する意向調査の結果をもとに、毎年、行政に要望している。
- ・農業相談会の開催
農業者が大勢集まる場所で、農業委員が指導者となり農業相談会を開催している。
- ・農業経営に関する意向調査
農業経営に関する意向を調査して、農業施策に対する要望に活用する。
- ・情報宣伝活動（なら農業委員会だよりの発行）
なら農業委員会だよりを年2回発行している。
また、同じ内容を奈良市役所のホームページで情報宣伝活動を行なっている。
- ・農業者年金業務
関係機関と連携しつつ、農業者年金制度の普及・定着と加入推進を図る。



農業相談会開催状況



なら農業委員会だより

②取り組みに当たっての課題

- ・毎年行っている農業施策に関する要望については、行政に要望しているが、農業者の意向を認識する程度で終わる場合が多い。

- ・農業相談会で寄せられる相談は、法的に無理なケースが多く寄せられるし、相談される件数が年々少なくなっている。
- ・農業経営に関する意向調査の取り組みに当たり、調査内容に重複があったり、新しい材題をなかなか見つけられない等の課題や問題が多い。
- ・なら農業委員会だよりの発行には、取材の材題が少なく、取り組み事例等の確保に苦慮している。
- ・毎年、重点加入推進となる対象者を設定し、加入推進を行っているが、加入に至らない。

③課題への対応方策

- ・農業施設に関する要望は、農業者の身近な問題や、話題となっている問題について、要望している。
- ・農業相談会は、出来るだけ多くの農業者が集まるイベント等での開催を検討している。
- ・意向調査の実施にあたり、その年や、直近の状況に応じた調査内容にしている、農業者の思いを反映した調査項目としている。
- ・情報宣伝活動の実施にあたり、予算の範囲内で可能な発行回数として、情報宣伝に努めると共に、日頃から農業委員を通じて、情報を呼びかけている。
- ・農業者年金については、関係機関との連携を強化し、幅広く加入推進を呼びかける必要がある。

要望年度	要 望 事 項
平成18年度	遊休農地・耕作放棄地解消対策 ① 農地を管理・耕作するための組織づくり ② 農道・水路の整備 ③ 朝市等の産地直売所の整備
平成19年度	遊休農地・耕作放棄地解消対策 ① 遊休農地の有効活用 ② 農産物直売所の整備
平成20年度	遊休農地・耕作放棄地解消対策 ① 農作業受委託等の充実 ② 市民農園の開設促進

直近3ヶ年の要望事項